

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相武台団地高齢者住宅等複合施設	階数	地上4F
建設地	相模原市南区相武台団地二丁目1228-4外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	65 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2013年11月 0.0	評価の実施日	2012年9月22日
敷地面積	3,797 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 奥野設計
建築面積	1,112 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月22日
延床面積	3,182 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 奥野設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 環境に配慮した計画としている。 建蔽率を30%以下に押え、敷地周囲への建物による影響を少なくする様に配慮し、隣地境界線からも十分に距離をとった建物配置とした。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 建築：建材については全面的にFを採用。 機械設備：建物用途を考慮して換気風量は人員からではなく適切な換気回数により算出しているため、法的に必要な24時間換気量の1.2倍以上となる。また極力空	<b>Q2 サービス性能</b> 建築：建物の長寿命化を図るためにコンクリートの水セメント比を下げた。 機械設備：出来る限り更新期間が長い配管材料を採用し、衛生器具に関しても出来る限り節水型の器具を採用	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地周囲は見通しのきくメッシュフェンスを採用。
<b>LR1 エネルギー</b> 神奈川県住宅供給公社の運用管理に準じて保全計画を行う。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 全ての大便器に節水型を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 住宅の品質確保の促進に関する法律 劣化等級3相当により、建物の長寿命化を図った。 相模原市の基準に準じて雨水、汚水等の計画をおこなった。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい